



針江大川河口の船着き場

滋賀県高島市

環境との共生による まちづくり



趣旨

地球温暖化や生物多様性の損失など地球環境問題が顕在化する中、国際社会が共同で問題解決に向けて取り組む必要性が広く認識されるようになってきました。一方で、地域社会においても、持続可能な社会の構築を目指して、環境との共生に配慮した新たなまちづくりのあり方が問われています。

こうした中、山の豊かさに支えられ育まれた琵琶湖や里のわき水の恵みを享受し、豊かな淡水文化を築いてきた高島市では、行政や地域住民によって、地域の自然や生活文化を見つめなおし、地域の風土に合った持続可能な産業・生活環境づくりが進められています。

そこで、高島市における取り組みを通して、今後の自然共生型のまちづくりのあり方について考えていきます。



概要

高島市(人口 53,641 人：平成 23 年 4 月 1 日現在)は、琵琶湖の西部に位置し、平成 17 年に 5 町 1 村が合併して誕生した新しい市です。古来よりこの地域は京都・奈良の都と北陸を結ぶ交通の要衝として栄え、中でも湖畔に沿って走る西近江路や、鯖街道と呼ばれる若狭街道などの陸上交通と湖上交通の拠点として宿場町や港町を中心に栄えてきました。

日本海側に近いことから冬季の寒さは厳しく、積雪量の多い日本海側気候となっています。また、秋季には「高島しぐれ」と呼ばれる降雨がしばしばあります。

琵琶湖の水を育む豊かな自然と美しい景観、そこから生まれる生活文化や資源を生かし、「びわ湖源流の郷たかしま」として地域づくりを展開しています。

主任講師

1952 年滋賀県大津市生まれ。
滋賀県公立学校教員、県立朽木いきものふれあいの里指導主任を経て、2001 年グリーンウォーカークラブ・ネイチャーガイド研究所を設立。現在、(有)グリーンウォーカークラブ・ネイチャーガイド研究所代表取締役、県立朽木いきものふれあいの里館長、環境省希少野生動植物保存推進員、滋賀県生物調査専門員等を兼務し、自然調査からエコツーリズムまで、幅広く自然に関わる仕事を行うとともに、高島の自然を活かした地域の活性化と産業としての基盤づくりに取り組んでいる。



県立朽木いきものふれあいの里館長

青木 繁氏

会場

高島市立安曇川ふれあいセンター内 安曇川公民館 視聴覚室
滋賀県高島市安曇川町田中 89 番地
【アクセス】JR湖西線 安曇川駅下車 徒歩 10 分

日程

9.14 | 水

13:30 開講式・オリエンテーション

Lecture 1

13:45 「暮らしを支え 暮らしに活かす ふるさとの恵み
—水と自然の恵みを活かす 人々のくらしぶり—」
(総論・問題提起) 主任講師：青木 繁氏

Lecture 2

14:40 「びわ湖源流の郷をめざしたまちづくり
—人と水と自然のつながり—」

特別講師：高島市市民環境部環境政策課 主任 瀧田 正氏

Lecture 3

15:50 「生物多様性に配慮した農産物の生産・販売
—生態系保全型農業の実践事例から学ぶ・考える—」

特別講師：株式会社アミタ持続可能経済研究所
主任研究員 本多 清氏

Lecture 4

17:00 「結いの里掠川の取り組み」

特別講師：結いの里掠川 事務局 是永 宙氏

9.15 | 木

Lecture 5

9:00 「自然に寄り添い、自然を活かした地域さがし」
主任講師：青木 繁氏

Field Work 1

9:50 「たかしま生きもの田んぼ」
特別講師：たかしま有機農法研究会会長 梅村 元成氏

Field Work 2

11:10 「針江地区・生水の郷まち歩き」
針江生水の郷委員会

Field Work 3

14:10 「朽木いきものふれあいの里」
主任講師：青木 繁氏

Group Work 1

16:20 視察結果のとりまとめ
主任講師：青木 繁氏

9.16 | 金

Group Work 2

9:00 グループ発表・講評
主任講師：青木 繁氏

Lecture 6

11:30 総括
主任講師：青木 繁氏

11:55 閉講式

申込先・問合せ先

財団法人 地域活性化センター 振興部 地域支援課
〒103-0027 東京都中央区日本橋 2 丁目 3 番地 4 号 日本橋プラザビル 13 階
TEL (03) 5202-6136 FAX (03) 5202-0755
E-mail chiiki@jcrd.jp
URL www.chiiki-dukuri-hyakka.or.jp